



報道関係者各位

2026 年 9 月 3 日
トルコ共和国大使館 文化観光局

映画『オデュッセイア』公開で話題！ 世界遺産「トロイ遺跡」2026 年最新発掘が始動



トロイ遺跡（南門周辺）

トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、数々の歴史的謎を秘めた世界遺産「トロイ遺跡」において、トルコ共和国(以下、トルコ)文化観光省の主導による 2026 年シーズンの最新発掘調査が本格的に開始されたことを発表いたしました。

現在、日本国内では、古典文学の原典であるホメロスの叙事詩を実写化したクリストファー・ノーラン監督の映画最新作『オデュッセイア』（9 月 11 日（金）全国公開）への期待が最高潮に達しています。スクリーンの中でマット・デイモン演じるオデュッセウスらが躍動する今、その物語の起点であり、叙事詩『イリアス』の舞台となった伝説の都市「[トロイ](#)」は、文学や映画を超えた“本物の歴史”として[トルコ・チャナッカレ](#)の地に厳然と佇んでいます。現代のシネマが世界の想像力を刺激する今こそ、考古学者や研究者たちは土の下に長年埋もれていた秘密を日々掘り起こし、伝説のトロイ戦争の實在に迫る新たな歴史的知見を見出すべく、精力的に調査を進めています。

■ 映画の興奮をリアルに体験：トロイ戦争の謎に迫る 2026 年の最新発掘



トロイ遺跡入口の「トロイの木馬」

2026年の新たなフィールドシーズンを迎えたトロイ遺跡では、現在進行形でエキサイティングな調査が進められています。今回の発掘では、ローマ時代の下層都市（Lower City）に広がる壮大な列柱道路や店舗跡が姿を現し、当時の商業活動や人々の生々しい日常が解き明かされつつあります。

同時に、研究チームは、伝説のトロイ戦争の時代に直結する「トロイ VI～VII 層」の南門周辺で、激しい破壊の痕跡を詳細に調査しています。さらに、トロイの城塞の深部にもアプローチし、青銅器時代の宮殿構造の秘密を解き明かす作業が続けられています。

映画『オデュッセイア』が世界的な注目を集める今、プリアモス王の都市へ足を踏み入れ、英雄ヘクトルが命を懸けて守ろうとした古代の城壁の間で歴史の息吹を感じる絶好の機会です。アキレウスの足跡をたどり、オデュッセウスの鋭い知略が巡らされたこの歴史的な大地で、映画を観る前、あるいは観た後に、すべてが始まった本物の大地に触れてみてください。

■ 5,000 年の歳月、10 層の歴史が織りなす唯一無二の文化的景観

トロイは、世界で最も重層的な文化遺産の一つです。ユネスコの世界遺産に登録されているこの地は、もっとも有名な「トロイ戦争」の遺産だけでなく、初期青銅器時代から東ローマ帝国時代に至るまで、5,000 年以上にわたり途切れることなく人々が暮らした 10 の異なる歴史の層で構成されています。トロイ VI 層の巨大な城壁から、ローマ時代の市民生活の遺跡まで、訪れる人々はまるで物理的に時間を遡るかのような、稀有なタイムトラベルを体験することができます。

トロイが歴史上ユニークな存在となった要因の一つとしては、ヨーロッパとアジアの交差点、そしてエーゲ海と黒海を結ぶ戦略的なロケーションにあります。この地理的優位性が継続的な繁栄をもたらした一方、ダーダネルス海峡の強い風と潮流は船にとっての安全な避難所となり、トロイを強力な交易と文化交流のハブへと成長させたのです。



トロイ博物館収蔵品

■ 神話と歴史の融合：再確認されるアナトリアのアイデンティティ

ホメロスやウェルギリウスといった古代の詩人たちが、これほど重要な都市を不朽の名作として残したのも偶然ではありません。ホメロスの『イリアス』は英雄主義の時代を超えた象徴となり、ウェルギリウスの『アエネイス』では、トロイ陥落後に逃れたアイネアス王子が「新しいトロイ」を求めて旅立ち、その子孫が紀元前 753 年にローマを建国したというロマンあふれる建国神話のインスピレーションとなりました。

実際に、紀元前 13 世紀頃に火災によって破壊された「トロイ VII 層」は、ホメロスが描いたプリアモス王の都市であると広く特定されています。近年の考古学的証拠は『イリアス』の記述と一致する豊かな富の存在を裏付けており、研究者たちは叙事詩と物理的な現実を結びつけるための調査を続けています。さらに、近年発見されたヒッタイトのテキストやルウィ語の印章は、トロイがホメロスの象徴であるだけでなく、世界的な影響力を持った「深くアナトリア（現在のトルコ）に根ざした都市」であることを証明しています。

■ トロイ博物館：歴史の層を最先端のデザインで体験



トロイ博物館内観

古代遺跡の入り口に位置する「[トロイ博物館](#)」は、遺跡巡りをより完璧なものにする素晴らしい施設です。数々の国際的な建築賞を受賞したこの博物館は、没入型のストーリーテリングと現代的な展示デザインを通じて、トロイの物語を鮮やかに蘇らせます。

館内では、緩やかに上昇するスロープを登りながら、トロイの重層的な歴史を体験できるよう設計されており、発掘された多様な出土品や、考古学・考古科学の最先端の知見に触れることができます。石碑から巨大な彫刻、広大な写真資料に至るまで、世界で最も伝説的な考古学の聖地を巡る、記憶に残る旅を提供しています。

■ ローマで出土品 300 点超の大規模展、東京で遺跡写真展を開催―世界で高まる「トロイ遺跡」への注目

トロイの遺産は現在、国境を越えてヨーロッパでも注目を集めています。イタリア・ローマのコロッセオ考古学公園では、2026 年 6 月 12 日（金）から 10 月 18 日（日）までの期間限定で、大規模な特別展「トロイとローマ：古代地中海の神話、伝説、物語」が開催されています。この展示では、トルコ国内 19 の博物館から特別に貸し出された 220 点以上の貴重な文化財を含む、合計 300 点以上の出土品が一堂に会し、地中海を舞台にした壮大な歴史の繋がりを今に伝えています。さらに、日本国内では、12 月 8 日（火）から 13 日（日）までの期間、東京国立博物館にて「トロイ遺跡写真展」の開催が予定されています。ホメロスの神話の舞台であり、5,000 年もの重層的な歴史を紡いできた古代都市トロイ。時空を超えてよみがえるその神秘的な姿を、日本の皆様にお届けします。

2026 年、映画『オデュッセイア』が世界の想像力を再び古代地中海へと誘う今、トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、歴史を愛するすべての日本の皆様を、伝説が始まった本物の舞台へと歓迎いたします。5,000 年の記憶を刻む世界遺産「トロイ遺跡」での現在進行形で進む最新の発掘調査、そしてその驚異的な発見の数々を間近で体感できる「トロイ博物館」は、時代を超えた叙事詩のロマンを肌で感じる、忘れられない旅をご提供します。映画館を出たその一步を、今なお進化を続ける本物の歴史の旅へと進めてみませんか。

トルコについて

トルコはアジアとヨーロッパを結ぶ要所として、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2025 年には全世界から過去最高の約 6,400 万人の観光客が訪れました。2023 年にトルコ共和国として建国 100 周年、2024 年には日本との外交関係樹立 100 周年を迎えました。

トルコの詳細は公式ウェブサイト (<https://goturkiye.jp/>) または以下の SNS をご覧ください。

Facebook: <https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp>

X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp

Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/

YouTube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

トルコ観光広報・開発庁（TGA）について

トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店

キャンドルウィック株式会社（杉田、大村）

Email: t-turkiye@candlewick.co.jp

Tel: 03-6261-6050 Fax: 03-6261-6051